

博物館の活用と 学校教育との連携



仙台市博物館
SENDAI CITY MUSEUM

仙台市博物館の立地

せんだいじょうあと
仙台城跡

本丸

二の丸

三の丸

◆博物館は仙台城の三の丸跡にあります



仙台市博物館



- ◆昭和36年, 仙台伊達家から寄贈された資料(伊達寄贈文化財)の保管・展示・研究のために, 仙台城三の丸跡に開館
- ◆昭和61年に全面新築
- ◆平成22年に総合展示室をリニューアル
- ◆令和6年4月, 約2年半の大規模工事を終えて再開館

主な収蔵資料



奥州仙台領国絵図
宮城県指定文化財



黒漆五枚胴具足
伊達政宗所用
重要文化財



支倉常長像
ユネスコ世界の記憶遺産
国宝

仙台の歴史・文化・美術・工芸に関する資料**約10万点**
を所蔵しています

展示について

◆常設展示室(7室)

①総合展示室

……仙台地方の歴史を時代の流れに沿って紹介



②特集展示室

……多彩なテーマで展示



展示について

◆常設展示室

③テーマ展示室 I

……歴代藩主のよろい・かぶとを中心に
仙台藩の武器武具類を展示



④テーマ展示室 II

……支倉常長と慶長遣欧使節関係資料を
中心に展示



展示について

◆常設展示室

⑤コレクション展示室Ⅰ

・・・堤人形を始めとした東北の古人形,
焼き物などを展示



⑥コレクション展示室Ⅱ

・・・仙台四大画家の作品を始めとした絵画を展示



展示について

◆常設展示室

◆季節ごとに展示替えをしています

（展示内容は「展覧会案内」「博物館だより」等でご確認ください）

◆特別展・企画展前後は閉室になる場所もあります

展示について

◆体験展示室

⑦プレイミュージアム

・・・郷土玩具等実際に触れるなど、
歴史や文化を体験できる部屋



展示について

◇企画展示室

- ・・・国内外から展示品を借用しての特別展と，収蔵品を生かした企画展を随時開催



情報資料センター



- ◆ 来館者からの質問・相談を受けて、調べものに必要な資料を探すお手伝いをしたり、館内・周辺案内マップを配布したりしています
- ◆ 図書の閲覧、マイクロフィルムによる資料閲覧もできます

館庭(三の丸跡)



五色沼



魯迅像

- ◆五色沼, 魯迅の碑など見どころいっぱいの館庭
- ◆天候の良い日には, イベント広場に敷物をしき, 昼食をとることもできます

博物館の役割

- 文化財の保存・研究と展示

- 生涯学習の学びの場

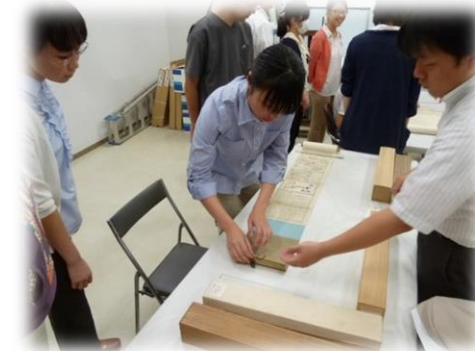
←幅広い対応→

美術

歴史

地域史

- 観光と
コンベンション機能



博物館での学びのステージ

生涯
学習

【小学校】

○歴史の学習の入り口

【中学校・高等学校】

○より専門的な歴史の学習

○職業についての学習

【大学】

○専門的な知識を得る

○キャリア形成の場

【一般】

○それぞれのニーズに応じて

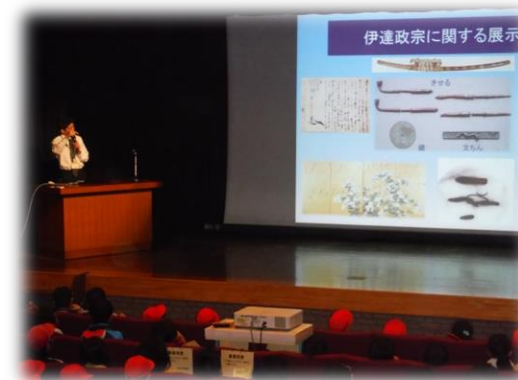


博物館での学び～学校教育～

博物館の学習プログラム

……見学の前後に展示の解説を聞いたり、体験活動をしたりする学習プログラムがあります

社会科など	伊達政宗と仙台
	慶長遣欧使節と支倉常長
	仙台藩の参勤交代を調べよう
	戊辰戦争 仙台藩と会津藩
	その他のプログラムについてもご相談下さい。 「仙台と会津若松 城と町」、「学区の歴史を調べよう」、「博物館の役割と仕事」等
図工・美術	もんきりがたで遊ぼう
	土人形って何だろう
	ようこそ屏風絵の世界へ
	蒔絵であそぼう



学校の要望に応じて内容に変化を持たせています(地域の歴史, 学習のねらい・進度に合わせてなど)

博物館での学び～学校教育～

スタディシートの活用

見学しながら活用できるワークシートです
下見の時にお渡しできます

■スタディシートNo. 7
テーマ展示室Ⅱ または 特集展示室
国宝 支倉常長像

資料紹介

慶長18年(1613)伊達政宗は、家臣の支倉常長(1571～1621)を使者として、スペイン国王とローマ教皇^(※1)のもとへ送りました。メキシコ^(※2)との貿易やキリスト教布教の希望を伝えるためです。常長が仙台にもどるのは、7年後の元和6年(1620)でした。

この絵は、ヨーロッパ滞在中、洗礼を受けキリスト教徒となった姿を描いたもので、常長が日本に持ち帰りました。実在の日本人がモデルとなった最初の油絵です。2001年には国宝となりました。

(※1) ローマ教皇とは、キリスト教ローマ＝カトリック教会の頂点にたつ人のことです。

(※2) 当時のメキシコは、スペイン(イスパニア)の領土で、ノビスパニアと呼ばれました。

1. この絵の支倉常長は何をしているのでしょうか？ア～ウのどれかに○をつけましょう。

ア 数珠を手に仏に祈りをささげている。

イ 十字架のキリストに祈りをささげている。

ウ 位牌に手をあわせ先祖の冥福を祈っている。



2. 展示室の絵で、常長の身なりや衣服、身につけているものに注目してみましょう。

(1)ヨーロッパ人のかっこうをまねている所を見つけ、右の絵を使ってその部分を○でかこみましょう。

(2)武士として日本で生活していたまゝの様子が描かれている部分があります。それはどこでしょうか？

3. この絵には、なぜ折り目やしわがよっているのでしょうか？



支倉常長像

- ・テーマごとに数種類用意しています
- ・見学中は1時間に1～2枚の使用がおすすめです
- ・裏面に解説あり
→学校での振り返りに使えます

博物館での学び～学校教育～

博物館での学習計画の例

- ・講話「政宗と仙台(40分)」+60分見学
- ・体験「もんきりがたで遊ぼう(60分)」+60分見学
- ・見学「スタディシートを使って(60分)」
※出前授業「政宗と仙台」+自主研修

○時間に余裕を持った計画を
○ねらい・視点を事前に持たせての見学を
○時間・内容は相談に応じます

博物館での学び～学校教育～

貸し出し教材の活用



銅鐸復元品
石包丁模造
貫頭衣試作資料



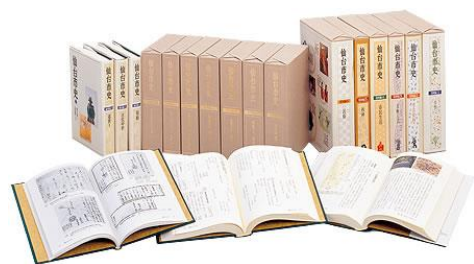
樂山公行列図巻パネル

他にも各種パネルなどの教材リストをホームページから見るができます。授業等でぜひご活用ください。

博物館での学び～学校教育～

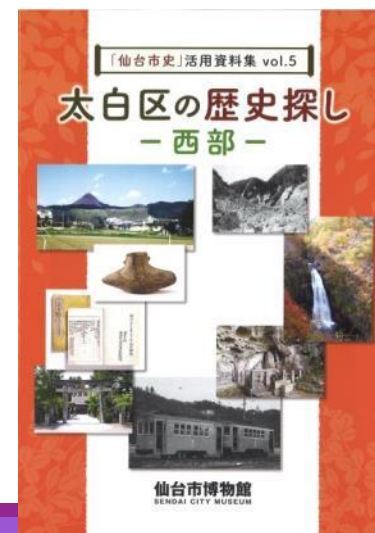
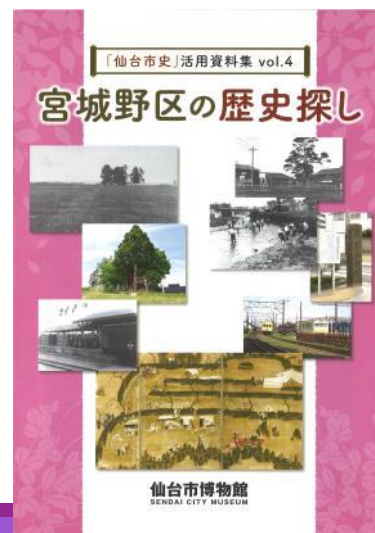
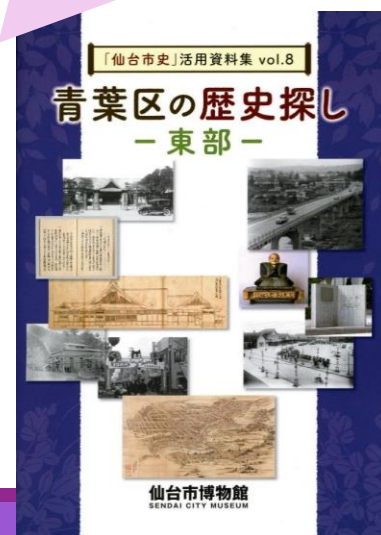
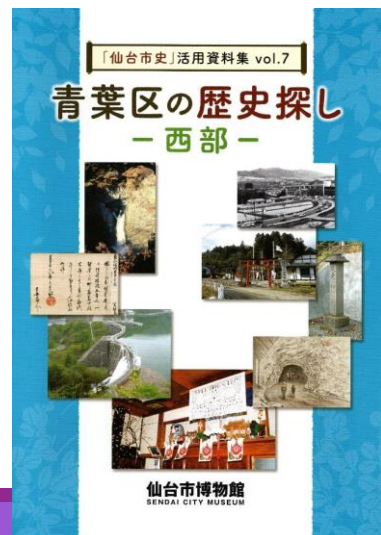
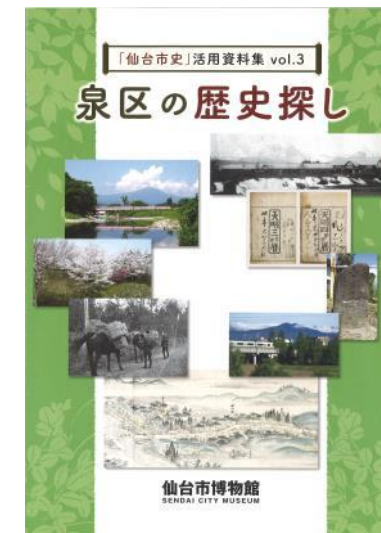
仙台市史活用資料集

……総合的な学習の時間などでも活用できます



仙台市史

「仙台市史」を授業で活用する際のヒントがあります。地域の歴史を授業に生かしてみませんか。



博物館での学び～学校教育～

こどもガイド

……博物館の展示品には、児童生徒向けのキャプションがついているものもあります



まさむね りょうめ あ
政宗の両目が開いています。

幼いころ病気で片目の視力を失った
政宗は、「自分の姿を表すときには両目を入
れるように」と言い残しました。そのため、
政宗の絵や彫刻には両目が開かれた表現が
多くみられます。

左上の詩は、戦にあけくれた青年期の
思い出と成長して年老いた自分の気持ちを、
政宗自身が詠んだものです。

儀式のとき
に着る正装
姿の政宗を
描いている
んだよ。



仙台の誇る伝統の土人形



堤人形は焼き物づくりが盛んだった仙台市
の堤町で、江戸時代から造られてきた土人形で
す。鮮やかな赤で彩られたのが特徴で、当時
流行した歌舞伎や、生活にかかわるものが多く
造られています。コレクション展示室Ⅰにも
たくさんありますので、人形の表情や模様か
ら昔の人々のくらしを想像してみましょう。

博物館での学び～学校教育～

【中学生】職場訪問・職場体験

- 博物館の仕事体験
 - ・学校利用の際の補助
 - ・イベントのチラシ作り
 - ・来館者への呼びかけ



【大学生】

授業としての利用・博物館実習



より専門的な学習
・・・歴史, 美術
キャリア形成の場として

博物館での学び～学校教育～

【教職員】

教育センターや生涯学習課などと連携した教職員対象の研修

◆ミュージアムセミナー

……企画展・特別展の展示解説&見学

◆博物館・文化財課活用研修

……博物館・文化財課の出前授業や、校外学習等での文化財課が所管する施設の活用方法について紹介

◆図工・美術科研修など



博物館での学び～生涯学習～

イベント（一般向け・子供向け）

◆記念講演会・しろまち講座・市史講座など



◆親子工作教室



◆仙台っ子歴史探検隊



博物館での学び～生涯学習～

イベント（一般向け・子供向け）

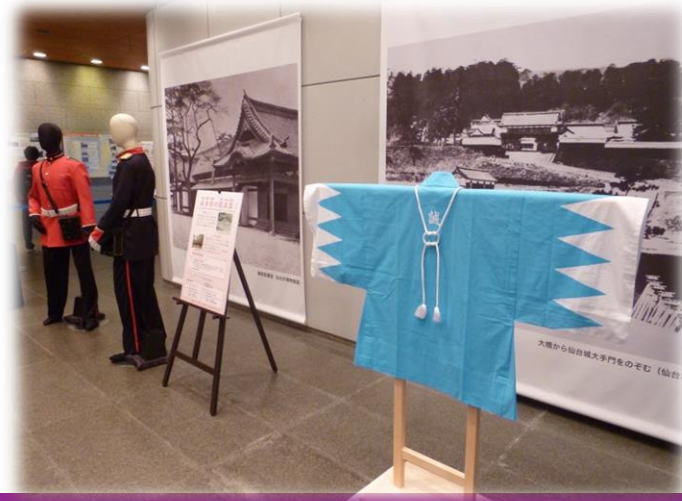
◆変身タイム

……プレイミュージアムにあるレプリカのよろいを
を着てみる体験イベント



◆企画展・特別展関連イベント

……企画展や特別展に関連した様々なイベントを
開催



◆くわしくは、当館ホームページの「先生方へ」のコーナーを
ご覧になり、ぜひ博物館をご活用ください。



ここをクリック！

本物に出会う前に 学校でホームページの確認を

あらかじめ展示品などの確認をしておくと、見学の際に、本物とあつ迫力がよりいっそう伝わるはずです。
学校での事前学習や見学後のまとめに、どうぞご利用ください。

▶ 学校との連携
(具体的なスタイル)

▶ 見学について
(申込みの手順)

▶ 調べ学習のために

▶ 提供授業・講座

▶ 博物館からのお願い

▶ 貸出教材について

いつでもご相談・お問い合わせください

仙台市博物館

〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地〈仙台城三の丸跡〉

TEL：022-225-3074（情報資料センター）

FAX：022-225-2558

仙台市博物館ホームページ・ツイッターもご覧ください

URL <https://www.city.sendai.jp/museum/>

公式ツイッター @sendai_shihaku

